

皆さんの平穏を守りたい

「私たちが活躍する場面が無いことに越したことはありませんが、万が一の事態が生じたときには、市民の皆さんの平穏を守るように日々備えていきます」と力強く語るのは、消防士の竹谷さん。

竹谷さんが消防に勤務したのは平成18年。スポーツや体を動かすことが好きで、「体を使って人の役に立ちたい」との思いから消防士を志しました。

「昨年は、北海道代表として『全国消防救助技術大会』に出場し、人命救助を見据えた全国レベルの技術やスピードを感じる事ができました。今後も日々の訓練で、常に人命救助を意識することの重要性を後輩たちに伝えていきたいです」と話します。



消防士

竹谷 真治さん

ただはる
登別温泉支署勤務。
趣味は野球やサーフィン、登山など多岐
にわたり『全国消防救助技術大会』では
キャプテンを務めました。



全国大会に出場した仲間たち

また、防災への関心が高まってきたことについては、実際に東日本大震災直後の被災地の様子を見て、「自分で災害に備えている人とそうでない人の差は歴然としていました」と一人一人が自ら

災害に備えることの大切さを訴えます。今後の抱負としては、「チャンスがあれば『救命士』の勉強をしたいです」と話してくれました。

小林さんが野球を始めたのは5歳のとき。一時期、ひじの故障で野球を辞めようと考えたこともありました。しかし、チームメイトの支えもあり、現在『登別ビッグ・フラップ・オーシャン』で4番打者として活躍しています。

昨年一番印象に残った出来事はとの問いかけには、「10月の全道大会で、ピッチャーを中心に粘り強い試合を展開し、準優勝することができたことがうれしかったです。ただ、自分としてはヒットをあまり打つことができなかったのが悔しい気持ちもあります」と話してくれました。

この悔しさを胸に「3月に開催される全道大会までにバッテリーに磨きを掛けて、大会では初球からストライクを見逃さないで積

全国制覇を目指す



野球選手 小林 由来さん

こばやし ゆうら
軟式野球チーム『登別ビッグ・フラップ・オーシャン』所属。
緑陽中学校2年生。
守備ではショートを守り、攻撃では4番打者を務めています。



冬期間中の屋内練習場整備の様子

極的に攻めていきたいです」と意気込みを語ってくれました。

今年の目標を尋ねると、「全国制覇です」と力強い言葉。チャンスに強い打者になって、「将来はプロ野球選手になりたいです」と夢を話してくれました。